

□ 要請番号 (JL60916B05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	C103 野菜栽培		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育・科学研究省

2) 配属機関名 (日本語)

国立農業・バイオテクノロジー高等研究所

3) 任地 (オート・オグエ州フランスビル市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道+車で約 15.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ガボン第二の都市フランスビルのマスク科学技術大学内にある国立農業・バイオテクノロジー高等研究所(INSAB)は、2002年に大学から独立し、農業・バイオテクノロジーに特化した研究と農業分野人材育成・農業普及を担っている。2014年から、野菜栽培JVの派遣が始まった。年間予算は、約4千5百万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の食糧自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業振興は重要課題の一つとなっている。当研究所は将来農業の指導者、研究者となる人材を育成しているが、座学中心の授業となっており、基礎的な栽培技術、継続的な観察などの実践が不足している。そのため、ボランティアには、学生や近郊の農民に実践的な栽培指導や自然農業紹介を行い、幅広く野菜栽培普及活動を行うことが期待されている。前任者は、付属農場の開拓・試験栽培実施や小学校の学校菜園を利用した野菜栽培指導や稲作指導を行った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先長・同僚と協力しながら、以下の活動を行う。

1. 付属農場での野菜試験栽培、学生への栽培指導補助
2. 付属農場の活用拡大支援
3. 市内の小中学校で学校菜園を利用した野菜栽培への助言
4. 近郊農民への野菜栽培技術向上支援
5. 近郊住民への野菜栽培普及支援

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

農具 (くわ、如雨露、なた、レーキ、スコップ、噴霧器など)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先長 男性 40代
教授(講師含む)84名(男性・女性 30~60代)
学生236名(男性・女性 10~50代)
農家

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（短大卒）農学 備考：専門知識が必要

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：配属先の要望

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は、同性JICAボランティアと同居となる可能性があります。(JVのみ)

※ガボン国への派遣については、同国の今後の治安情勢の動向を見極めながら、その都度安全確認を行った上、最終的な派遣を決定しますので、派遣の延期や中止もありうる点、ご理解の上で応募願います。